



《第3号》 平成27年7月

「味坂校区協働のまちづくり協議会」

事務局 味坂校区公民館内

Tel 73-3858 Fax 73-2912

☆味坂まちづくりだより



27年度スタート！！

=== ごあいさつ ===

味坂校区協働のまちづくり協議会
会長 権藤 英幸

5月16日(土)、味坂校区協働のまちづくり協議会総会が開催され、1年間の活動計画と予算が承認されました。味坂校区の協働のまちづくり事業は4年目となり、市が推進しております「協働のまちづくり推進事業」の実施スケジュールの上で、平成27年度は試行期に位置づけられ、味坂校区は「まちづくり委員会」から「まちづくり協議会」による運営へと移行しました。味坂校区は、「青少年育成部会」「生活環境部会」「健康福祉部会」「防災防犯部会」「地域交流部会」の5部会で構成し活動してまいります。校区の課題を再確認し、従来の事業内容を見直し改善を図り、特に、文化・生涯学習面において、新しい事業(校区芸術祭等)の取り組みを進めていきたいと考えております。今年度も、「笑顔」と「元気」があふれる地域を目指して行きます。まちづくり事業



の主役は住民のみなさんです。本年度の事業は逐次ご案内してまいりますので、みなさんの積極的なご参加とご支援をよろしくお願い致します。



☆☆☆ 27年度役員紹介 ☆☆☆

役職	氏名	校区役職	役職	氏名	校区役職
会長	権藤 英幸	前区長会代表	顧問	河原 正治	有識者(推進連絡会議会長)
副会長	平田 博美	校区区長会代表	委員	荒巻 輝雄	区長会
副会長	黒岩 茂樹	自治公民館長会代表	委員	牟田 耕一	区長会
副会長	権藤 英資	民生児童委員会代表	委員	佐藤 善治	区長会
生活環境部会長	弓削 紫朗	区長会	委員	寺崎 幹夫	校区老人クラブ代表
健康福祉部会長	大中 清治	主任児童委員	委員	佐藤 真紀子	健母の会代表
青少年育成部会長	広瀬 啓	味坂小PTA会長	監事	河原 壽一郎	区長会
防災防犯部会長	赤川 芳春	区長会	監事	白水 祐一郎	宝城中PTA副会長
地域交流部会長	井上 三男	自治公民館長会	事務局長	権藤 清英	市民会議校区指導員
顧問	高山 俊夫	有識者(元区長会代表)	会計	原口 康雄	味坂校区公民館長



校区の主な行事予定(7~12月)



7/11(土)	ペタンク大会	9/27(日)	味坂校区敬老会
8/23(日)	祭りあじさか2015	11/15(日)	グラウンドゴルフ大会
8/30(日)	ソフトボール大会	11月下旬~	イルミネーション点灯
9/23~9/26	味坂っ子通学合宿	12/13(日)	味坂っ子の集い

※その他、福祉保健事業・防災訓練・環境問題等の研修会を計画いたしております。



味坂校区の健康運動会が6月14日（日）に開催されました。味坂校区の子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加できるレクリエーション大会を開催することにより、家族や地域のふれあいと交流の場を回り、あわせて健康・体力づくり及びあじさか校区の活性化を図る目的で、味坂校区協働のまちづくり協議会「健康福祉部会」主管ではじめて行いました。開催日が田植えの時期と重なり、参加者の数が心配されましたが、自治会、公民館、各種団体、学校など地域の皆さんの呼びかけで、300名を超える方々に参加していただき、玉入れ、風船割り競争、パン食い競争などの競技や演技に応援席からも大きな声援が上がり、また、大会終了後「健母の会」の協力により“おいしい昼食”を頂きました。皆様のご協力のおかげで盛大な運動会を開催することができたことに深く感謝申し上げます。来年は、もっと多く地域の皆さんに参加していただけるよう、内容の検討・充実を図りたいと思っておりますので、皆様のご協力・ご支援をお願い致します。

*** 健康福祉部会 部長 大中 清治 ***



【団体成績】

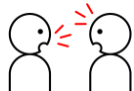
☆☆ 赤川！！ 総合優勝 ☆☆



優勝・・・赤川(100点)、準優勝・・・平方(90点)、3位・・・下西(90点)

4位・・・上西(90点)、5位・・・光行(80点)、6位・・・宝城南(55点)、7位・・・八坂(45点)

(※2位～4位は同点のため、ジャンケン)



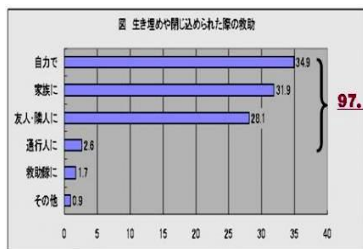
情報発信



地震国日本。分かってはいても、毎日のようにテレビの画面に地震速報の字幕が映し出される都度、災害の多い国だなと新たな気持ちにさせられます。

振り返ってみると、20年前には阪神淡路大震災、また4年前には記憶に新しい東日本大震災があり、余りにも多くの犠牲者を出しました。

阪神淡路大震災では、普段から近隣や地域社会とのつながり、結びつきが極めて重要であることが再確認することとなりました。この



(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

震災で、生き埋めや建物などで閉じ込められた人々のうち消防などの公的機関の救助（公助）によるものがわずか2%多くは、自力または家族や隣人などの地域住民によって救助されました。隣近所どうし常日頃のお付き合いで絆を作っておくことがいかに大切なことか分かります。とはいえ今の社会では価値観が多様化する中、大変難しいことだと思われまます。いつ災害が発生しても対応できるようにするには、防災訓練や住民一人ひとりが災害に対する強い意識が求められます。

味坂まちづくりは災害研修にも力を入れていきます！！

ボランティア大募集



安全安心で住みよいまちづくりのために皆さんの知恵と力を役立てて頂けませんか。福祉や健康づくり、スポーツ、環境、防災、交通安全、青少年育成など様々な校区の活動にご協力下さい。今年も、祭りあじさかのスタッフを募集します。

《味坂校区協働のまちづくり協議会》

【お申し込み・お問い合わせ先】

味坂校区公民館 Tel 73-3858

